

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
総社市	山田	令和4年3月8日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	86.095 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	57.013 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	14.788 ha
i うち後継者がいる農業者の耕作面積の合計	2.859 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0 ha
iii うち後継者について確認していない農業者の耕作面積の合計	11.929 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	8.100 ha

注:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

2 対象地区の課題

イノシシの被害が多い。水の流れが悪い田がある。
現在は担い手がいるが、将来人手不足になる可能性がある。
ジャンボタニシを利用する耕作者とそうでない耕作者がおり、被害が発生している。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地の所有者の意向に合わせて、耕作が続くことを第一に、中心経営体への集約を進める。